

前方視的調査に関する中間報告

武田 佳彦・森 晃
高木 耕一郎・中村 敬

【概要】

本研究班では、ハイリスク症例の妊娠管理と分娩後との関連の検討を通じて、妊産婦健康診査の効果を判定するために、研究協力者の所属する施設を対象に、同一フォーマットで、前方視的調査を行い、データベースを作成している。今年度は、該当症例の事前登録が終了した。そこで、前方視的調査のために登録された症例を合併症別に集計した。これによると、妊娠前の異常で登録されたものは、214件で、妊娠中の異常で登録されたものは81件であり、合計295件であった。この他、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、慢性腎炎、心疾患合併例について、同一フォーマットで後方視的に各施設5例ずつ調査を行い、データベースに追加する予定である。

【目的】

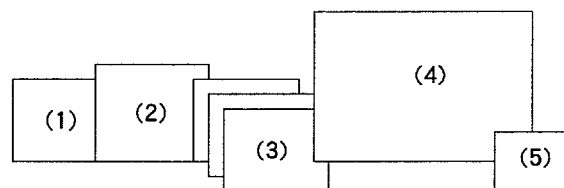
妊産婦健康診査の効果を判定するために、妊娠管理と分娩経過との関連を検討することを目的として、研究協力者の所属する施設を対象に、合併症妊娠の症例について調査を行っている。今回は、前方視的調査の途中であるが、事前登録が終了したので、その疾病別集計を報告する。

【対象および方法】

- 1) 対象：研究協力者の所属する施設、8施設において、平成7年1月～平成8年12月までに、外来を受診した妊婦の中から、登録票（別添）に記載した「登録対象疾病」に該当する症例を前方視的に抽出した。一方、平成6年以前の症例の中から、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、慢性腎炎、心疾患合併例の4疾患について、後方視的に約40例ずつを抽出した。
- 2) 方法：前方視的調査では、これらの対象について、分娩終了後、すべての調査票（平成6年度報告書に添付）に記載し、後方視的調査で

は、前方視的調査と同一フォーマットの調査票に必要事項を記載し、コンピュータ上にデータベースを作成した。データベースは、以下の5種類のテーブルから成り、独自に付加したレコード番号をキーフィールドとしたリレーショナル・データベースとして構築した（構造は以下に示す）。

- (1) 登録票
- (2) 経過票
- (3) 超音波検査票
- (4) HP 調査票（分娩経過票）
- (5) 他科との共同診察に関する調査票



- 3) 分析：今回は中間集計であり、(1) 登録票のデータをExcelデータに変換し、前方視的調査についてののみ疾病別の集計を行った。

【結果】

集計結果は表一1に示した。これによると、妊娠前の異常に該当し登録されたものは214件(72.5%)であり、この中で登録件数の多いものは、甲状腺機能亢進症(23件)、慢性腎炎(19件)、SLE(19件)などであった。妊娠中の異常で登録されたものは81件(27.5%)で、多胎妊娠(21件)が最も多く、IUGR(15件)、前置胎盤(9件)であった。

また、その他のハイリスク要因のために登録された症例は、57件(19.3%)であり、その内訳を表一2に示した。

【考察】

今回、前方視的調査のために登録された295件

の合併症別集計を行った。まだ、事前登録の段階であり、分娩結果は一部を省いて明らかではない。登録されたハイリスク要因の種類が多く、合併症ごとの経過から分娩結果までの解析を行うには、それぞれの件数が少なすぎるが、これらの合併症妊娠が周産期センターで扱われた場合の分娩予後に関しては十分に言及できるものと推測される。また、合併症として、重要である前置胎盤、常位胎盤早期剥離は今回の前方視的調査では件数

が少ないので、後方視的にデータを収集し、さらに、心疾患合併例および慢性腎炎合併例についても後方視的調査によりデータ数を増加し、それぞれのグループごとの分析を行う予定である。

【まとめ】

本分担研究班で行っている前方視的調査の事前登録が終了したので、登録された合併症ごとの集計を行った。

表-1 前方視的調査登録状況（1996年2月25日現在）

合併症	登録件数	%
1. 妊娠前の異常	214	72.5%
循環器疾患	35	11.9%
ASD	3	1.0%
VSD	5	1.7%
Fallot	2	0.7%
本態性高血圧	5	1.7%
弁置換	1	0.3%
循環器疾患その他	19	6.4%
腎疾患	32	10.8%
慢性腎炎	17	5.8%
慢性腎炎、シェーグレン	1	0.3%
慢性腎炎、抗燐抗体症候群	1	0.3%
ネフローゼ	6	2.0%
ネフローゼ、甲状腺機能亢進症	2	0.7%
腎移植	2	0.7%
腎不全、透析	1	0.3%
透析	2	0.7%
代謝内分泌疾患	37	12.5%
糖尿病	9	3.1%
糖尿病、多胎妊娠	1	0.3%
甲状腺機能低下症	0	0.0%
甲状腺機能亢進症	20	6.8%
甲状腺機能亢進症、耐糖能異常	1	0.3%
甲状腺疾患	4	1.4%
副腎疾患	1	0.3%
副腎性器症候群	1	0.3%
自己免疫疾患	28	9.5%
SLE	17	5.8%
SLE、抗燐脂質抗体症候群	2	0.7%
I TP	9	3.1%

合併症	登録件数	%
抗磷脂質抗体症候群	3	1.0%
シェーグレン	2	0.7%
シェーグレン、MCTD	1	0.3%
MCTD	1	0.3%
自己免疫疾患その他	3	1.0%
その他	25	8.5%
肝疾患	5	1.7%
肝疾患、肺疾患	1	0.3%
肺疾患	8	2.7%
高年妊娠	2	0.7%
てんかん	9	3.1%
その他のハイリスク妊娠	57	19.3%
その他のハイリスク妊娠	57	19.3%
2. 妊娠中の異常	81	27.5%
重症妊娠中毒症	4	1.4%
耐糖能異常	5	1.7%
多胎妊娠	20	6.8%
多胎妊娠、耐糖能異常	1	0.3%
前置胎盤	8	2.7%
前置胎盤、重症妊娠中毒症、IUGR	1	0.3%
形態異常児	6	2.0%
極度の肥満	5	1.7%
極度の肥満、IUGR	1	0.3%
極度の肥満、肝疾患	1	0.3%
極度の肥満、重症妊娠中毒症	1	0.3%
IUGR	14	4.7%
IUGR、多胎妊娠	1	0.3%
羊水過少	1	0.3%
羊水過多	4	1.4%
他の感染症	1	0.3%
未記入	7	2.4%
合計	295	100.0%

表-2：その他のハイリスク因子内訳

合併症の種類	件数	%
Banti症候群	1	1.9%
MDS	1	1.9%
RA	1	1.9%
Rh感作妊娠	2	3.7%
てんかん	2	3.7%
アルコール依存症	1	1.9%
ウィルソン病	1	1.9%
ギランバレー症候群	1	1.9%
サルコイドーシス	1	1.9%
ベーチェット病	3	5.6%
下垂体卒中	1	1.9%
潰瘍性大腸炎	1	1.9%
気管支喘息	2	3.7%
巨大子宮筋腫	1	1.9%
多発性筋炎	1	1.9%
子宮筋腫	4	7.4%
子宮頸部悪性腫瘍	1	1.9%
子宮頸部異型上皮	2	3.7%
子宮頸部上皮内癌	1	1.9%
自立神経過敏症	1	1.9%
柴斑病性腎炎	3	5.6%
深部静脈血栓症	1	1.9%
先天性ATⅢ欠乏症	1	1.9%
前回重症妊娠中毒症	4	7.4%
前頭葉海綿状血管腫	1	1.9%
血液疾患	1	1.9%
多発性硬化症	1	1.9%
多発性子宮筋腫	1	1.9%
内頸動脈瘤	1	1.9%
二分脊椎	1	1.9%
尿崩症	1	1.9%
脳動脈瘤術後	1	1.9%
分裂病	3	5.6%
卵巣悪性腫瘍	1	1.9%
卵巣腫瘍	1	1.9%
卵巣嚢腫	2	3.7%
頸管無力症	1	1.9%
合計	54	100.0%

登録票

(送付先：FAX：03-3941-5878)

登録番号 - - 0

国籍

施設名 (全角7文字以内略称、左詰)
(例：東京女子医大、福島医大など)

母親の氏名 (カタカナ8文字以内、左詰)
(イニシャルでも可、8桁以上はカット)

カルテ番号 (アルファベットと数字のみ、左詰)
(注：ハイフンは除いてください)

初診年月日 19 年 月 日

登録年月日 19 年 月 日

登録日の妊娠週数 妊娠 週

分娩予定日 19 年 月 日

母親の生年月日 19 年 月 日

既往妊娠、分娩回数 既往妊娠 回
(妊娠、分娩とも今回が初めての場合は0としてください。) 既往分娩 回

紹介の有無 (0. なし 1. あり)

紹介の理由 _____

登録対象疾患

(該当する疾病をチェックしてください。複数選択も可)

1. 妊娠前の異常

*：循環器疾患

マルファン症候群 大動脈炎 ASD VSD Fallot
弁置換 本態性高血圧 心筋症 その他 ()

*：腎疾患

慢性腎炎 詳細病名 () ネフローゼ 腎不全
透析 腎移植

*：代謝・内分泌疾患

糖尿病 甲状腺疾患 () 副腎疾患 ()

*：自己免疫疾患

SLE ITP 抗磷脂質抗体症候群 シェーグレン MCTD

*：その他

肝疾患 () 肺疾患 ()
モヤモヤ病 AVM
40歳以上の高年妊娠 18歳以下の若年妊娠

*：その他のハイリスク妊娠 詳細： _____

2. 妊娠中の異常

重症妊娠中毒症 耐糖能異常 (含GDM) 羊水過多 羊水過少
前置胎盤 IU GR 形態異常児 多胎妊娠 常位胎盤早期剥離
極度の肥満 (妊娠初期のBMIが26%以上)

*：TORCH

トキソプラズマ 風疹 CMV ヘルペス 他の感染症
は記入しないでください 記入者： _____



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



【概要】

本研究班では、ハイリスク症例の妊娠管理と分娩予後との関連の検討を通じて、妊産婦健康診査の効果を判定するために、研究協力者の所属する施設を対象に、同一フォーマットで、前方視的調査を行い、データベースを作成している。今年度は、該当症例の事前登録が終了した。そこで、前方視的調査のために登録された症例を合併症別に集計した。これによると、妊娠前の異常で登録されたものは、214 件で、妊娠中の異常で登録されたものは 81 件であり、合計 295 件であった。この他、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、慢性腎炎、心疾患合併例について、同一フォーマットで後方視的に各施設 5 例ずつ調査を行い、データベースに追加する予定である。